

登録コード	E2227900	開講年度	2026					
授業科目	微分積分学					担当教員	松澤 泰道	
英文授業名	Calculus					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限		対象学生	2年生
講義室	教育N101講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					論理に基づいて数学的な議論を展開する姿勢を身に付ける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					イプシロンデルタ論法を使いこなせるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	1変数の微積分について学ぶ。主に実数の連続性とそれに基づく微積分の理論を展開する。毎回課題を解くことでこれを達成する。							
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：実数の連続性 第3回：平方根と指数関数 第4回：数列の極限 第5回：関数の極限 第6回：関数の極限と数列の極限の関係 第7回：中間値の定理 第8回：最大値の定理 第9回：微分の定義と意味 第10回：平均値の定理 第11回：テイラーの定理 第12回：積分の定義と意味 第13回：広義積分 第14回：ガウス積分、授業アンケート 定期試験							
(6)成績評価の方法	「1変数の微積分の基礎と応用を理解できるようになったかどうか」を測る期末試験100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」							
(8)事前事後学習の内容	授業後は授業の復習をし、例や演習問題を解くこと。							
(9)履修上の注意	・高校で習う微積分は仮定する。未習の学生は各自で自習しておくこと。 ・授業内容は学生の理解度と希望によって変更することがある。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容であるため、60時間以上の時間外学習が必要となる。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	随時。myasu@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	指定しない。							
【参考文献】	指定しない。							